

特別展

文部科学省委嘱巡回展モデル事業

ふしぎ大陸

南極展

ANTARCTICA

2001
2/10~4/8

土

日

休館日

毎週月曜日(2/12を除く)・2/15(木)・3/21(水)

開館時間

9:00~16:30 (入館は16:00まで)

■ 特別展観覧料

20歳以上(学生を除く) 200円

20歳未満・学生 100円

高校生以下・65歳以上 無料

■ 交通

箱根登山鉄道 入生田駅から徒歩3分

(小田急線が乗り入れています)

主催 神奈川県立生命の星・地球博物館

全国科学博物館協議会

国立科学博物館

国立極地研究所

朝日新聞社

展示協力 白瀬南極探検隊記念館

協力 湘南地球科学の会

神奈川地学会



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田499 TEL (0465)21-1515

ホームページ <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/museum/g.html>

写真提供 国立極地研究所

ようこそ、ふしぎ大陸 南極へ

ようこそ、ふしぎ大陸 南極へ

南極大陸は、未知の大陸として古くから探検家たちのロマンをかきたててきました。

今日では、「オゾンホール」など地球環境を考える上で、人類の未来を握る重要な観測対象となっています。

この特別展は、南極観測事業の重要性とその歴史、南極大陸の自然、南極観測の成果などの展示により、南極および地球環境についての理解を深めていただきたいと考えています。

南極探検の歴史

ようこそ白い砂漠へ

- ・南極の氷（実物）

南極探検の英雄たち

- ・アムンゼン隊、スコット隊、白瀬隊（写真）

南極観測のあゆみ・南極への交通手段

- ・観測船「しらせ」（模型）
- ・雪上車（模型）
- ・観測用具（テント・調査用具一式：実物）

南極観測

南極の自然

南極大陸の特徴

- ・三稜石・火山弾（実物）
- ・岩石の磁性実験装置

南極大陸のなりたち

- ・化石・鉱物各種（実物）

雪と氷の南極

南極の生きものたち

- ・アデリーペンギン剥製（実物）

いん石

- ・ヤマト・アエンデいん石（実物）

オーロラの種類・観測

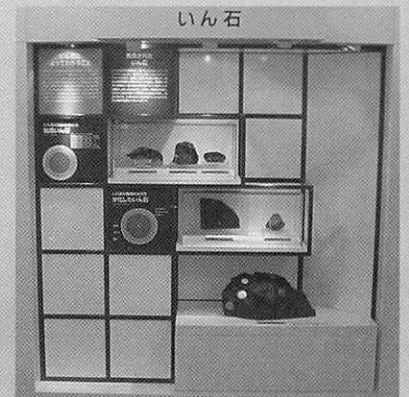
- ・オーロラ観測ロケット（実物）

地球環境と南極

地球をとりまく環境問題

モニタリングサイトとしての南極

- ・地球を守る南極観測（VTR）



講演会「南極大陸の自然を探る」

3月17日(土) 14:00～ 神奈川県立生命の星・地球博物館講義室にて
白石和行氏（国立極地研究所）「南極観測の歴史と南極大陸の地質」ほか
共催：湘南地球科学の会・神奈川県地学会